



千苅ダム護岸崩壊（10/9）撮影、台風によるものではなさそう



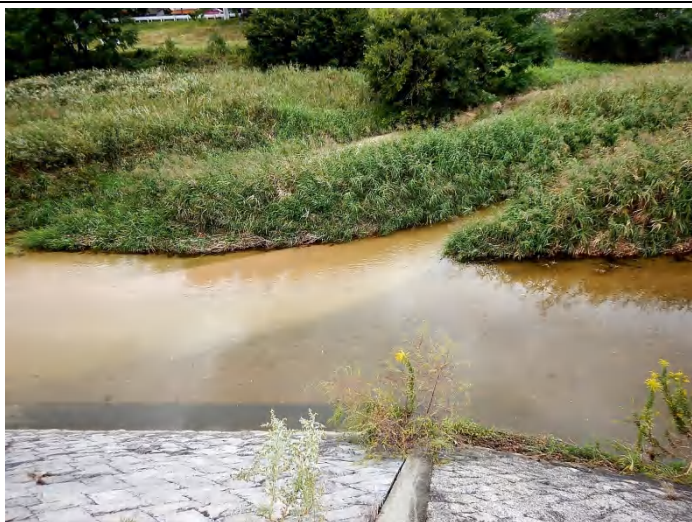
羽束川合流点から本川方向 本川へ大量の礫が流れ込む



本川側から羽束川の岩盤河床を見る



台風 19 号に備えて樋門閉鎖？



川の色から土砂流出は仁川側と明快に読み取れる



潜水橋上流右岸に畑出現

日本列島を台風 18 号崩れの熱帯低気圧、19 号・20 号と立て続けに襲われ関東地方に大きな災害をもたらしたが、直撃を免れた武庫川流域では災害発生しなかった。百間樋付近の高水敷に達する程度の洪水が発生すると、必ずといっていいほど百間樋取水路に砂礫堆積する。樋門を越え土砂が流れ込むと堤内地側に設けられたバースクリーンまで砂礫で埋まる恐れがあり洪水が予想されると百間樋堰を下げ樋門閉鎖する運用になっているようである。殆ど流れが無くなった水路に逃げそびれた小魚の群れが見られ、武庫川本流から百間樋水系へ魚類の通り道になっているようだ。

仁川と川西川合流点川底の色がくっきり分かれ、土砂流出源は全て仁川であることを明快に示している。潜水橋上流右岸側の草むらの中に畑を見つけ草を掻き分けて近くまでいったら、畑と川を結ぶ小道があり畑の水汲み場までつづられ、今はほんの僅かな耕作地も付近の草が刈りとられ徐々に拡張されようとしている。耕作禁止看板有効期限切れ？

千苅ダム下流左岸護岸が何故か岸から起き上がったような壊れ方をしていた。台風・大雨以前に起きた事らしく、何故こんな事になったのか全く見当もつかない。羽束川は岩盤河床で石ころはないのに、合流点では沢山の礫が本川に流れ込み何れ浚渫が必要になるだろう。老朽化か容量増か目的不明ながら千苅ダムへの電線更新工事中だった。